

||||| 鳩山会長語る |||||

[illegible]

本紙の購読について
本会々員以外の方で、本紙の購読を希望される方は左記料金を添えて直接発行所までお申込下さい。

購読料	一力年	二〇〇円
送料	同	五〇円
合計		金 二七〇円

歳末助け合い運動決る

はじめ大規模に実施されたことばかりである。実施要項のと通り。

一、本会統一に行つたものは、先般実施してゐるサナリニウ人婦立、北海救済救護基金運動(金十月)であるが、これと並列同時に実施せられた。

一、学生サナリウ人奉仕地の「援助組合」運動。同様に警察、孤児院、草履舞踊会を助けた他、日本学生社団に婦立サナリウ人に対して努力を促した。詳細客のこゝになつた。

一、学生サナリウ人奉仕

一、多岐にわたる運動については、同地区の一般若者並びに本会の組織的役割を十分果たして、世帯得る範囲内の運動を進めたい。

二、この運動をより効果的に行うため、若者団体に協力を要請するとは勿論進んで一般にも協力を要するが、

一、本地区の事例より強固の運動展開戦略の要は、前年の勢い進んで、金力添えて。

東京地区は引揚者など

本藩中心となつて行われ、東京

りあえず前記七団体によつて発見せられたものである。今後、この参

されては、十一月三日正統院員のほ
 かに、十一月十三日正統院員のほ
 こびとされた。
 十一月三日の会費では、前開所
 号雑誌の送り、印刷費、
 士ホステル協会、私学連、学
 院ユニオ、日本学生労働会、同学
 生生活及び日本の七団体正
 統正統会表題、この七団体と

十二月十七日、同日、龍

助成金要

私学連
 私学
 私学

私學連
私學振興總決起大會

生土曜会及びひまの七団体が正式に加入を表明した団体か、わずかに七団体を減した理由も、初より多大の関心を示すかなどが、団体自体の機構上と多少は正決定について懸念された大倉招定に於ては、

去る十二月六日・七日の両日、全園私学（生自会）総盟（私学連）主催により、私学興隆決定委員会、熊原、神田三町門日本大講堂において開催された。

この大会は本誌上において紹介したの如く、「全園私学の団結により共に強さを解決できる」ス

要請。
3、私学救済会に対する貸付額。
4、学生養育保険問題。
5、奨学金金問題。
6、平和問題。
大会最終には、平土曜難しに於ては、甲根金を金動議に

ヒロポン編

中・韓
体と国

M R A有志と懇

四年度MRA大会に出席
が國代表の歓迎大会は、
十九日午後六時半、東京
薬クラブ三階広間にて行
会より奥田、川手常任幹
した。

歓迎会は、洗練された司
て、先づ国際合唱団のコ

学生会議はこのほど男女
　　リパキスタン

の是否について討論会を開いたところが、ほとんどの出席者が、このように猛烈に反対した。反対のいかに激しいかは、青年を墮落させる原因として、學問以外の道へ誘惑、性の混乱と文化面での混乱をひき起すことを増加させる。議長はこの討論会の結末に当り「反対者の言論論、真実性、具体性にお

「會長がいよいよ『内務大臣』になられた本會が發展途上にあるこのことと雖も會員にとつて大いなる喜びであつ

「お説かれる『友愛精神』を政治の道の上に実現させるようにはお願いしたい」金風から会席に宛ねて、お祝いの手紙が多量に届けており、その中には会席に対するお願いや希望が述べられている。その一二つを紹介する。

「上の正していただきたい」といふ長官の御健忘のことがあるが、日本の政治は誠に民主主義の軌道を走らせていただけたるが、たゞ議政増進で倒れることがあつて、半生を費した

民主主義の為に座げた会長に、本望ではないでせうか?」
「友愛青年同志会が政治団体になるのが、友愛精神をもつた人々が多数新政に参与することによって日本社会が友愛社会になることが望ましい。その意味でも、会長始め全会員の間で統一された」と(大塚)▼退政解任後、人生は遺情をせめて遠くへゆくようなものであることに感じたいし、静かに民の心の中へ沈み込まれることを我々は心から願

下に全勞 全農系勤勞青年

日本民主社会主義青年同盟

昭和二十六年一月、中山房、柳田昌吉氏により創立された中山は、映画、馬鹿、代の作家、著者、興行の社長、等の著した横濱は、年刊誌、所の著、現は、合資、七百名、ホス、利

日本ユースホステル

[illegible]

「ま」といふのもなほゆかりなり。北九州の
M山組では、既に非叛に陥らず
に及ばず、ハス板がたつ工刀板を
て、板とちがつくものゝは、諸部照
ろしてしまふといふ。

さてこうした諸部照の中では、
拳士たちもオチオチと寂然となら
ぬ通りといひなり。毎一、毎日、日
月輪転を叩きながら、餐料から
おどやぶる。クダと愛りか
ないという。K原班。彼つて、
学も諸部照、先だちが愛護
學の家庭訪問して子供あめ
に禁じてゐる。聞けたがシヨミ
にしている愛をみて陸連に疾
へ手紙を出贈るものもいれな
いという（『原班』）

さてこれは、吉沢源心先生
生が出版後援を始めたところ、
近所の規矩者が反発したので
振返させられた、という話であ
らう。子供たちの『作』
にもこうした状態を反映してい

常盤通りに傾いたのは偶然。
この道を通り破産して下すバ
と海國ともなくさうゆく。」
このD原稿今度英文交通通
の寄附金でデフ・フルンに對し
て送れた。だが、中々企業の一
し云。銀行貸主との探得故
問難しが得られない状況であ
れば、昨晩八人のが払却願ひ
月分約五万四千の年の約の
差間にして側面で社長長屋
宅の朝顔に目をうつてしま
ふ。それ十一月十二日のこと
從前圖に左がこれと親切に
てを引いて書き残されたとい
う點を添付に宛てては、今更
も先立の事柄は三ヶ月々々を
去つてゐるといふが、その
D飯田に輸入たる老若男女を
を周わける田内閣のものなり
た。

この子供たちは一輩離れた
の学校の貧乏病に罹っている
が、十一月に入つてからは六階

第九條 本部は、父青年同盟、女青年同盟、支部と稱し事務所を置く。

第十條 本部は、自目的達のため支部連合会を預け、所属の地区に統率する。

第十一條 本部は、〇（市・区・町・村・郷）に居住もしくは滞在する會員をもつて組織する。

第二章 機関役員

第十二條 本部に於ける機關を列す。

第十三條 本部は、本部の機關を機關長と稱し、其の所属の會員並に之を補助する會員を機關員と稱す。

第十四條 本部役員をもつて機關長を、同以上を部長と稱す。

第十五條 本部は、所屬會員の二分一以上の出席をもつて成りし機關長は出席會議の過半数を以て決す可き同數の場合に議決が決定する。

第十六條 大会は、支部・事務局・會計・會計監事及び支部委員と之を代表する者を選出する。

第十七條 大会は、各役員を推薦することが出来る。

第十八條 支部委員は本部を代表する執行機關として、大会の決議を執行する。但、其の支部の大会に於ける事項に關する決議權は、もとの決議事項について責任を負ふ。

第十九條 支部委員は、委員長、事務局長、會計及び會計監事、支那

学生のための救済が目的

本邦の宗教史は、一九四八年「昭和二十三年」世界宗教年鑑(WN)の「日本の国教職員」として著述した。たゞこの団体名を語るときは「世界宗教年鑑」に如何なるものがあるか知らなければならぬ。また、世界宗教年鑑は人種、宗教の別なく、また國に拘はらずに、そのところの宗教史を調査するものである。ところが、この「昭和二十三年」世界宗教年鑑に、大々とした「日本の国教職員」として著述した。たゞこの団体名を語るときは「世界宗教年鑑」に如何なるものがあるか知らなければならぬ。また、世界宗教年鑑は人種、宗教の別なく、また國に拘はらずに、そのところの宗教史を調査するものである。

[illegible]

☆ 甚に剛走の風が吹き交はれ、綿絮のフライングは、ホナ
☆ し、破り、綿のフライングは、デューション、ネして同様に
☆ 九五四度まで下り、の寒が、いって、でもかたてである
☆ フレッシュをくつて九州、常陸、北海道、病院では、いす
☆ 校に、いゆづ、わが生肌の寒熱の、北戸、を、迎えよう
☆ を救えとの声が、響きつ、いと、と、細細、聞、て、と、類に

天井板で暖をとる

スの多少に、リ、母愛やつ ☆
 シ、バレードとなつては、一 ☆
 。だが、今年吹雪まづつたデ ☆
 してゐる。 故郷の千枝たち ☆
 の家門をさぐつてゐた。 ☆
 候があるため、御参員もさう疎く
 ば、度々お払いを頂上にてに要求で

これは學生位になると、大人のチエノ御くのか、ヤマノ購買組舎の爲業集團におそつて、チエノミソを待て出し、腰のヤマに一つに紐がなない。(ヤノ銀山)などという響聞もあるやうに、
北九州の田は、大谷や、チエノ御く

第十二条 すべて後掲の特別徴収の結算大会とする、但し再々
差附けなし。

第三章 会 計

第十三条 支部費(区費)と同じ本部費(支部運営費)に併に納入するもの
第十四条 支部の経費は支部費・支部援助金・事業保証・カレンバ
資金をもつてする。

第十五条 会計は支部委員会の承認を経て寄付金を受けることとする。

他を以て知る

の発端は第一次世界大戦後の大
生活の困窮を救おうとしたドイ
B・ホフマン氏が日本にそ
内務国会を設置すべき使命

の園建設、金華集映画会などは、同華社
同としては異例の行為に属するに
のである。

とまに後々に泥をわけてきた不況が完全に炭坑街をつつんでしまつた。そのため、九月には例

の関
てい
の中

線にて四指間、
茨城県葛城市か

常磐
上野駅から常磐

福島県平市までの沿線にいわゆる常磐田がある。

第十八条 本規約は、大会において出席會員三分の二以上の賛成がなければ変更することができない。

食欲しさから盗み

不況のアオリ炭坑の

天井板で暖をとる

学校は開店

平靜な子供たち

むしろ問題はこれから

みんなが集つて勉強するだ』と語つてくれた。

むしろ學黨たちの問題はこれか
ら別な面へあらわれてくるので

